

輸出事業計画

※申請者名：北海道産米輸出促進協議会 品目：米

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・2011年度の北海道産米輸出事業開始時の総輸出货量21tから比べ、2024年6月期（2023年7月～2024年6月）は総輸出货量672tとなり32倍に増加している。
- ・輸出先は、アメリカ、ベトナム、シンガポール、香港、中国、フィリピン、台湾、英国
- ・日本国内では人口減少を要因とする米消費量は低下しているが、海外では日本食レストランの増加、寿司やおにぎりといった日本食ブーム、またグルテンフリーや健康志向としての米市場の拡大により日本産米の需要増加が見込まれている。

【課題】

①. 輸出効率化にむけて（ショクレン北海道）

- ・生産コストのため、価格がネックで輸出が叶わなかった国に対して活路を見出す必要がある。
- ・遠方国へ安価に輸出するための効率化を行う必要がある。
- ・価格がネックで輸出が叶わなかった輸出先国の市場性や消費動向等に関する調査が必要。
- ・また上記に呼応し、FSSC22000を取得し、国際基準の衛生管理導入が必要

②. 輸出米の仕向国別生産拡大に向けて

- ・競争相手の少ない国での展開を意識し、途上国向け乾田栽培米によるコストダウン。発展国向けの規制対応。

2. 輸出事業計画の取組内容

＜生産・製造段階での取組＞

上記に市場ニーズに対応するのは、以下4つの課題解決が必要と考えます。

- ・新精米工場の整備（真空対応等）
- ・国際基準に即した精米衛生管理（FSSC2200取得）
- ・多収、効率性の高い（乾田）栽培体系の試験栽培。
- ・EU規制対応低農薬栽培米の拡大（試験栽培）
- ・残留農薬検査体制の充実

＜物流段階での取組＞

- ・欧州や北米向け輸出にあたり物流ルートが長距離となることから、そのスケジュールと北海道ETDによるコスト面・鮮度を検証する。
(R6年度は、イギリス向け)
- ・リーファーコンテナでマイコス米、低農薬米を慣行栽培米と混載し、現地着の時点での鮮度劣化について慣行米と比較検証を行う。

＜流通面での取組＞

在京商社との連携にて以下の点を調査・検証

- ・地域単位でなく都道府県域を超えた集荷・輸出の検証（R6年度検討）
- ・他府県米との共同流通による売り場でのバリエーションの検証（海外現地調査）

新興国の開拓

カナダ・イギリスでの商談（R6年度）

欧州新興国（R7年度～）

発展途上国（乾田栽培米／R7年度～ 個別国名（メキシコ等）

輸出事業計画

※申請者名：北海道産米輸出促進協議会 品目：米

<対象国別>

● ベトナム

・課題

日本産米のマーケット開拓は順調に進捗しているが、社会主義国であることから、国内法規の分かりにくさと突然の変更などへの対応が課題となる。

・取組内容

基本的に現状の現地子会社を主軸としたマーケット開拓を進める。

● 香港、台湾、シンガポール

・課題

ともに日本産米マーケットとしては成熟市場といえる。日本各地から多くの品種アイテムが販売されて価格競争となっている実情。

・取組内容

とはいえ大きなマーケットであるので一定の販売規模は維持しつつも過度の価格競争とは距離を置いた営業スタンスを取りたい。

● 中国

・課題

急速な景気後退により日本産米の需要がシュリンクしている。

・取組内容

政治指導による変化が大きい国であるが、一方潜在マーケットも非常に大きいので日本から中国に輸出される日本米の一定シェアは死守してゆきたい。

● フィリピン

・課題

検疫、輸入の法律の運用が各方面で不透明で分かりにくい。

・取組内容

輸出先企業のリクエストに従って出荷しており、問題は発生していない状況。現地で通関の基準が異なることもあり、フィリピンでの通関状況や検疫について協議会として把握が不十分であるため、さらなる調査を行っていく。

● アメリカ、カナダ、英国、フィンランド

・課題

今後さらに有望なマーケットととらえている。

・取組内容

FDA,衛生管理国際認証など求められる事項をクリアするとともに、ショクレン北海道がFSSC22000を取得するため、製造施設の対応も併せて進める。

● メキシコ

・課題

メキシコの日本産精米の輸入が解禁されて1年が経過ばかりで、市場開拓が今後の課題。

・取組内容

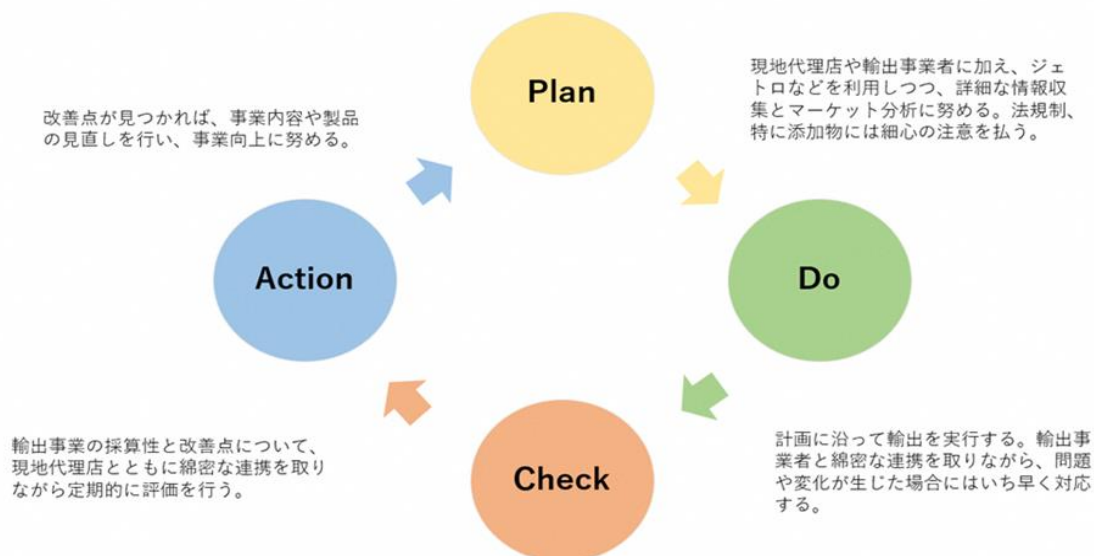
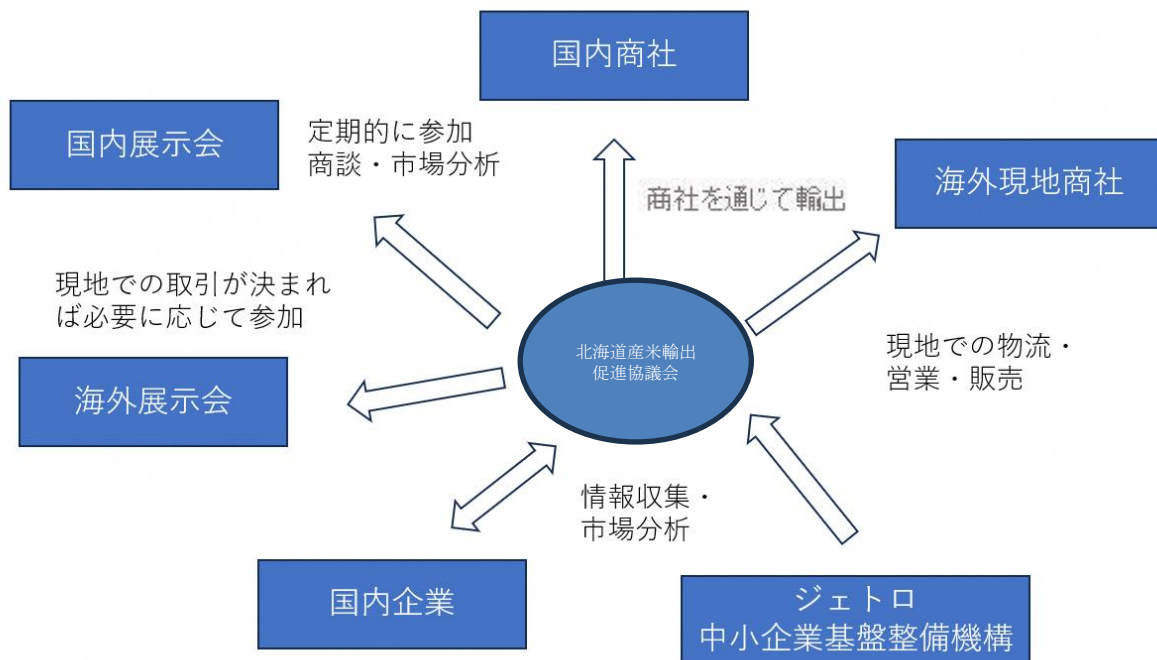
特に情報が少ないため、オンライン研修会など事前準備を進める。経験豊富な北海道のコンサル会社に委託し、各事業のマッチングコーディネートを委託し、販路拡大を進める。

輸出事業計画

※申請者名：北海道産米輸出促進協議会 品目：米

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

PDCA サイクル：JETRO、バイヤー（輸入商社）等と連携しながら、PDCA サイクルを回します。



輸出事業計画

※申請者名：北海道産米輸出促進協議会 品目：米

4. 輸出目標額

(輸出品目：米)

	現状 (令和6年3月期)	目標年 (令和12年3月期)
輸出額 (千円)	115,640	191,185
輸出量 (kg)	616,367	998,692
輸出先国	アメリカ、ベトナム、シンガポール、 香港、中国、フィリピン、台湾、 英国	アメリカ、ベトナム、シンガポール、香 港、中国、フィリピン、台湾、英国、 フィンランド、メキシコ、カナダ